

第三者意見

第三者意見



関西大学 社会安全学部・大学院社会安全研究科 教授・博士(法学)
日本経営倫理学会 常任理事
経営倫理実践研究センター 上席研究員
高野 一彦

1. 「タクマCSR報告書」の特長と昨年度との違い

タクマグループは、日本を代表するプラントエンジニアリング企業であることは論を俟たない。昨年の第三者意見では、同社のコーポレート・ガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンスに関して、素晴らしい取り組みを行っている旨を寄稿させていただいた。

本年度版のCSR報告書を拝読し、昨年度版との違いは以下の三点ではないかと思われる。

第一は、経営理念の浸透である。新たに代表取締役役に就任された南條社長の「TOP MESSAGE」では、まずタクマグループの経営理念に言及されている。創業者である田熊常吉氏が掲げた創業当時の社是「汽罐報国」に立ち返り、現在の経営理念を尊重する経営姿勢を示されている。長く続く企業は、企業理念・価値観を経営者と従業員が共有しているという特長があるとする研究成果がある。プラントエンジニアリング事業でわが国の産業の基盤を支え、社会から事業継続を強く求められている当社にとって、南條社長の経営姿勢は重要であると思う。

第二は、女性活躍である。同社は、プラントエンジニアリング事業の特性上、女性従業員が多いとは言いが、CSR報告書では「女性活躍に向けた取り組み」を掲載し、女性基幹職および総合職の人数を増やすという目標を掲げて努力している。本年度は、女性の社外取締役を迎え、さらに取り組みが促進されることが期待される。

第三は、SDGsへの取り組みである。廃棄物処理プラント、水処理プラント、エネルギープラントを基幹事業としている同社は、SDGs(持続可能な開発目標)との親和性が高い。本年度版CSR報告書では「トピックス SDGsへの取り組み」に、社内横断的な

有志によるワークショップを開始した旨が記載されており、今後の進展が期待される。

このように、昨年に比べてさらに発展している様子を、「タクマCSR報告書2019」からうかがい知ることができて嬉しく思う。

2. さらなる発展への期待

タクマグループは、現時点で高いレベルのCSR活動を行っているが、さらに昇華するための取り組みとして、あえて以下の二点を挙げたい。

第一は、企業としての「レジリエンス(強靱性)」の向上への取り組みである。同社のリスクマネジメント体制は充実している。今後は、大規模地震や風水害、それに起因する大規模停電などの広域複合災害の発災を前提とした訓練を定期的に行うことで、さらに事業継続計画(BCP)の実効性を高めることができるのではないだろうか。

第二は、経営理念・価値観の共有の具体的な施策の実行である。経営理念・価値観の共有と風通しの良い社風作りを目的に、経営陣と従業員の対話の機会を設けている企業も多い。新たな経営体制のもと、CSRキャラバンのような、経営陣と従業員の対話の機会を検討されることも有益ではないかと思う。

南條社長の「TOP MESSAGE」において、長期的な企業価値向上の観点からESGの取り組みの重要性に言及されている。わが国におけるESG投資の投資残高は、2014年以降急激に伸びており、CSR評価を高めることで長期的な企業価値向上に資することとなる。レジリエンスの向上や経営理念・価値観の共有により、さらに企業価値が向上し、持続的に発展されることを期待している。

第三者意見を受けて



取締役 執行役員
コンプライアンス・CSR推進本部長
兼 コーポレート・サービス本部長
田中 康二

「CSR報告書2019」の発行にあたりまして、関西大学教授の高野一彦様より貴重なご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。

本書は、タクマグループが社会課題の解決と企業価値の向上を図り、持続的な成長を実現するために取り組んでいるさまざまな活動と当社グループの第12次中期経営計画をステークホルダーの皆さまにご理解いただくため、関係者の声を中心にわかりやすい解説に努めました。

「1.『タクマCSR報告書』の特長と昨年度との違い」では、「経営理念の浸透」の重要性、「女性活躍」「SDGsへの取り組み」の期待につきまして、ご意見を頂きました。今後の取り組みの方向性を示していただいたことに感謝申し上げます。ステークホルダーからの期待、要請に応えるため、また、当社グループの持続的な成長を実現するため、これらの取り組みを進めてまいります。

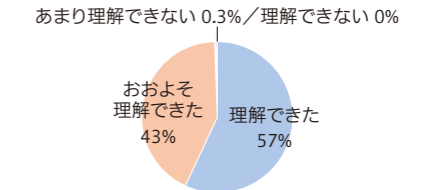
また、「2.さらなる発展への期待」においても、企業価値の向上、持続的な発展に資する方策を示していただきました。レジリエンスの向上や経営理念・価値観の共有により、変化に対処する能力の強化に努めてまいります。

今回、ご指摘いただいた内容を真摯に受けとめ、CSR経営の推進とCSR報告書の充実を図ってまいりますので、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

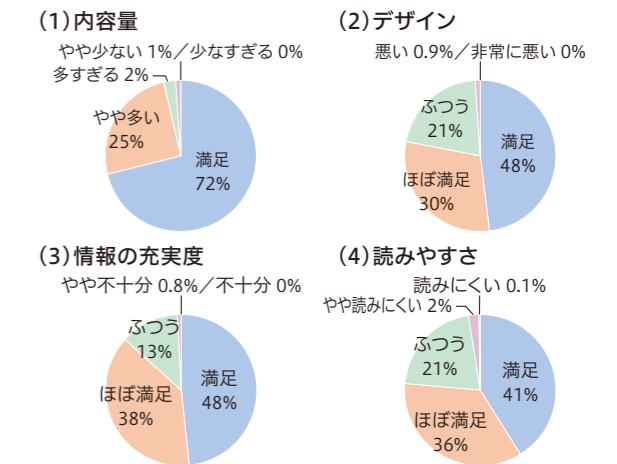
「タクマ CSR報告書2018」アンケート結果

調査期間：2018年7月～2019年6月
回答者数：976名

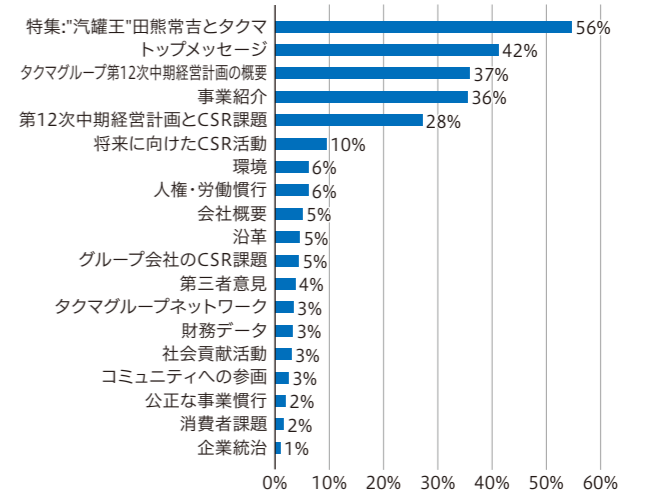
Q1 当社の活動についてご理解いただけましたでしょうか。



Q2 本書に対する満足度はいかがでしょうか。



Q3 どの項目に興味をもたれましたか。(複数回答3つまで)



● **編集方針**
「CSR報告書」とし、当社のCSR活動を記載しました。

● **発行者およびお問い合わせ先**
株式会社タクマ
コンプライアンス・CSR推進本部 CSR部
TEL(06)6483-2673
FAX(06)6483-2620

● **対象期間**
原則として2018年4月1日から2019年3月31日までです。一部2019年度の活動内容を含んでいます。

● **対象範囲**
原則として株式会社タクマおよび関係会社を対象としています。

● **発行時期**
今回発行 2019年7月
次回発行 2020年7月予定
前回発行 2018年7月